

2037年 リニア中央新幹線全線開通 (新大阪-品川間)

リニア中央新幹線は、2037年の大阪-名古屋間の開業により、大阪-名古屋-東京間が約1時間で結ばれ、3大都市圏で人口約7000万人、国内総生産約300兆円という、世界最大のスーパーメガリージョンが形成されます。

日本経済の大動脈が二重化され、今後想定される南海トラフ地震による東西分断のリスクを軽減できるほか、人的交流の活性化やイノベーション促進や観光産業の拡大など、全国で年間1兆5600億円の経済効果が期待されています。一方、大阪・東京間の工事費は9兆300億円と見込まれています。

リニア中央新幹線における工事をめぐり、静岡県との協議が進まず、静岡工区で工事が遅れており、全体の開業時期の遅れが懸念されます。

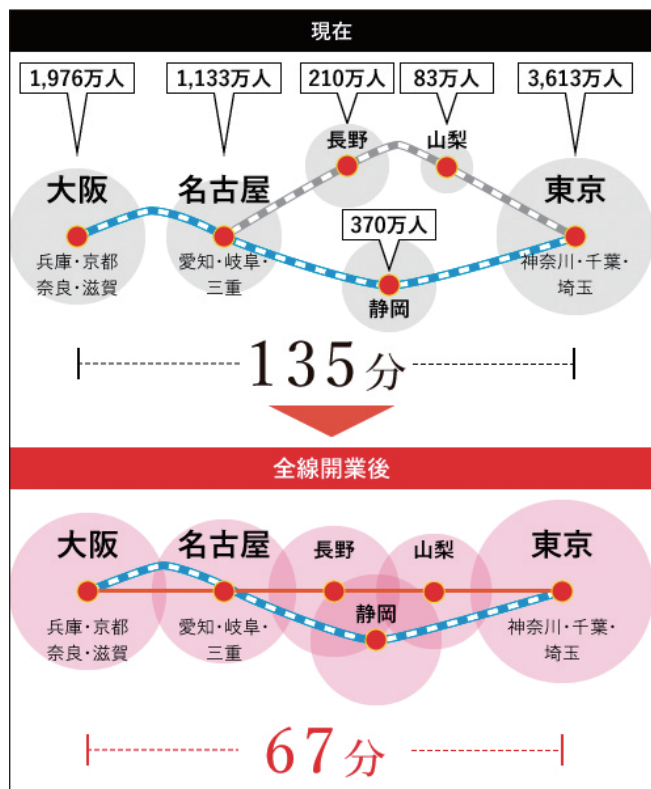


出典：リニア中央新幹線早期全線開業実現協議会

名古屋 - 東京開業による経済効果
年間8,900億円
(産業活動誘発4400億円、観光誘発4500億円)



大阪 - 東京開業による経済効果
年間1兆5600億円
(産業活動誘発7100億円、観光誘発8500億円)



リニア中央新幹線の静岡工区を巡る経緯

2011年	リニア中央新幹線の整備計画が決定
14年	JR東海が工事实施計画を申請し認可。品川-名古屋間を着工
17年	工事で出た湧き水を大井川に全量戻すよう県がJR東海に意見
20年4月	国土交通省が有識者会議を設置
20年6月、7月	JR東海社長、国交事務次官が川勝知事と会談。物別れに
21年6月	静岡県知事選で川勝氏が4選
21年12月	有識者会議が中間報告
27年	品川-名古屋間が開業予定 (延期か)
37年にも	名古屋-大阪間が開業予定

出典：リニア中央新幹線早期全線開業実現協議会